

新しい歯周除菌治療『口腔除菌内科』



みなさんは、口臭、口のねばつき、歯ぐきの腫れや出血、歯のぐらつき

上記のような症状が気になったことはありませんか？

これらは全て歯周病の症状です。18歳以上のほとんどの人が歯周病菌に感染しています。症状や進行度に個人差があるだけで、皆さん感染しているのです。毎日歯磨きしてるのに…ちゃんと歯医者さんで定期的にお口の掃除を受けてるのに…やっぱり口臭やねばつきがある。なぜ、なかなか良くならないのでしょうか？それには原因があります。



原因 其の壱 『お口に住むカビ(カンジダ)』

一つは、お口に住むカビ(カンジダ)が原因です。カビは歯周病の直接的な原因になるわけではありません。歯周病菌の住み家になり、歯周病菌を守っているのです。カビがある限り、薬用成分は歯周病菌には完全には届きません。カビは歯磨き粉に含まれる薬用成分では、死にません。特殊なカビ除菌用のお薬が必要なのです。



原因 其の弐 『通常の歯周病治療』

もう一つは通常の歯周病治療が原因です。一般的な歯周病治療は、歯石取りと歯面清掃です。具体的には、歯の表面についた汚れを、歯や歯茎の一部と一緒に削り取っているだけなのです。そもそも歯周病は、歯周病菌による感染症です。汚れを取っても除菌しなければ、またすぐ菌が増えて症状が再発します。だからちゃんと歯周病治療をしているはずなのに、良くならないのです。さらに通常の歯周病治療には大きな欠点があります。歯石を取る器具は、刃物です。刃物を使えば、当然周囲の歯茎も少し傷つきます。特に歯周病菌に感染して腫れている歯茎は、簡単に傷つき出血します。

- ・除菌をしていない状態で出血させる
- ・血中に菌が入り、全身に流れっていく
- ・菌血症という状態を引き起こす

心筋梗塞などの血管の汚れからは、多くの歯周病菌が観察されています。全身疾患を引き起こすリスクがあるのです。

歯磨きと飲み薬で歯周病を治す、新しい治療法『口腔除菌内科治療』3つの治療方法。

当クリニックでは、歯磨きと飲み薬で歯周病を治す、新しい治療法『口腔除菌内科治療』を取り入れております。

熊本県天草の生田図南先生が提唱された、日本中で注目され、雑誌などでも多数取り上げられている治療法です。

治療1

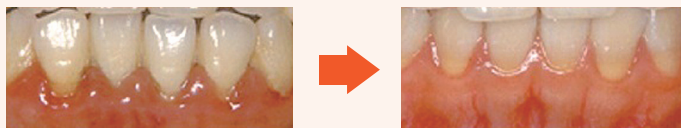
まずご自身のお口の中の歯垢(プラーク)を取り、顕微鏡で菌などを調べます。ほとんどの方が、自分のお口にいる菌を見てショックを受けられます。

治療2

菌の種類や量により、カビを殺す歯磨き剤によるブラッシングと歯周病菌をやっつける内服薬により徹底的に除菌します。同時に菌やカビの住み家になる歯周ポケット(歯と歯茎の間の溝)を、特殊な消毒薬で洗浄します。

治療3

約1週間後一再度顕微鏡で検査します。除菌されたことを確認した後、特殊な歯磨き剤を用いた歯磨きをしていただきます。その後、通常の歯石などの汚れを取り除きます。



口腔除菌内科治療を受けられた患者さんは、**歯のぐらつきが止まった!**
口のねばつき、出血がなくなった!

など、みなさん大変驚かれます。

この治療法のすごい点は、除菌して汚れを取り除くことで、歯周病によりダメージを受けた歯ぐきや溶かされた顎骨が再生するのです。つまり今までなら、抜歯するしかないグラグラの歯も残せるようになります。

